

北海道CLASSプロジェクト 帯広三条高校の取組

北海道帯広三条高等学校長 合浦英則



地学協働活動推進研究大会

令和5年11月16日（木）

本日の話題

1. 本校の概要
2. 本校の目指すところ
3. 本校の取組
4. 成果と課題
5. 今後に向けて



本校の概要

- 今年で創立108年
- 6間口
(男女比4:6、市内と市外半々)
- 文武両道が伝統
部活動加入率 90%
- H19 **進学重視型の単位制導入**
- 昨年度国公立大合格者 80名



1 本校の概要

本校のCLASSプロジェクトの目指すところ

➤ 学びに向かう自主性と主体的な進路選択と実現を図る
都市型探究プログラムの構築

- ・ 1 年次：思考ツールの習得と「地域課題」をテーマにした探究活動
- ・ 2 年次：進路別類型による探究活動
- ・ 3 年次：個別の探究活動

2 本校の目指すところ

5



7

8

事業実施前

- 旧態依然とした授業形態
 - R2 國學院大・田村学教授を招いて校内研修
- ほとんどが受け身の授業だったと指摘した上で、「皆さんが教え込むことは悪いことではない。でもただ一方的に聞くだけではなくて、それをアウトプットし、発表し、話し合い、意見交換など必要なんです。それをOECDのシュライヒャー氏も『総合学習が学力アップの鍵』だとはっきり言っています。」

探究活動の本格的なスタート

本校のCLASS プロジェクト の取組

1 年目

- 外部人材を活用した探究的な学びの展開
 - 3年選択教科『自己表現』
 - ・ 帯広市のまちづくり
 - ・ 帯広美術館学芸員との対話型鑑賞 他
 - 2年次『総合的な探究の時間』
 - ・ 英語活動 (English speakerとの交流活動)
 - 2年次『現代社会』
 - ・ 企業・団体を招いて地域貢献について講話
- コンソーシアム会議の設置と開催 (年2回)
- コーディネーター配置
- 探究推進部の設置

本校のCLASS プロジェクト の取組

2 年目

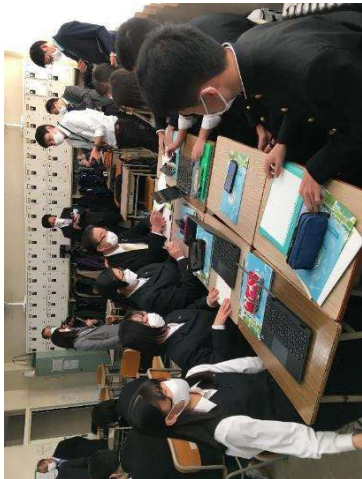
- 1年次『総合的な探究の時間』
年間を通して全員対象の探究活動プロジェクト
 - ・ 地域課題をテーマ
 - ・ 外部人材活用
- 各教科・科目での探究的な学びの展開
 - 音楽
 - ・ 専門家からの指導とミニコンサート
 - ・ 十勝に伝わる子守歌
 - 家庭科
 - ・ 金融教育、消費者教育、保育園交流 他
- CLASS探究交流会実施
 - ・ CLASS連携校・サポーター校との情報交換・交流

本校のCLASS プロジェクト の取組

3 年目

- 2年次進路別類型による探究開始
 - ・ 6類型に分かれて探究活動
- | | | |
|--------------|---------|----------------------|
| 地域課題解決 | 教育・スポーツ | SCIENCE & TECHNOLOGY |
| 看護・医療 & 地域支援 | 国際理解・人権 | ART & 表現 |
- 校外での探究活動を公欠で後押し
 - ・ 活動の場を校外にも積極的に展開
 - 校外での探究活動を公欠で後押し
 - ・ 休日や探究の時間での実施が不可能な場合、年1回最大1日認める
 - さらなる授業での外部人材活用
 - ・ 体育、英語でも

地域人材と協働した探究活動～『自己表現』①



地域課題への提案 (帯広市役所まちそだて)

- 地域課題への解決法を提案
- 市役所職員からアドバイス
- フィールドワークをするグループも
- 昨年度は市長も話し合いに参加

外部人材活用数

年度	団体・個人	延べ人数
令和2年度 (CLASS以前)	1	
令和3年度 (取組1年目)	12	
令和4年度 (取組2年目)	117	
令和5年度 (取組3年目)	60 (11/10現在)	

教科・科目での外部人材活用

家庭：金融教育、消費者教育、保育園交流
 体育：地域スポーツ体験(フロアカーリング)
 英語：JICA研修生との交流
 現代社会：地元企業(地域貢献)
 音楽：十勝の子守歌伝承、専門家実技指導

本校の変容①

外部人材活用



地域人材と協働した探究活動～『自己表現』②



帯広美術館と連携した 「対話型鑑賞」

- 美術品は地域の方から借用
- 帯広美術館学芸員と鑑賞活動
- 絵から受けたイメージや心の動きを言葉にして相手に伝えることで自らの表現力を高め、さらに他の意見を高めることにより想像力や感受性を育てることを目的とするもの

地域人材と協働した探究活動～1年『総合的な探究の時間』

商品開発

- おからハンバーグの商品開発
- おからについての講義
(中田食品・貴戸社長)
- パッケージデザイン考案
- 音更「ハピオ」で販売



高大連携での探究活動～『1年探究』【教育ゼミ】



北海道教育大学との連携

- 地域との連携を学ぶ釧路校・宮前ゼミの学生と交流
- 地域における学校の役割について学生から講話
- 各グループごとに学生と交流
- 教員志望理由や教育大での学びについて生徒が質問

20

コンソーシアム組織

進路類型別探究を意識した構成メンバー
 看護 ⇒ 北海道医療大学講師・長谷川先生
 教育 ⇒ 北海道教育大学釧路校・宮前先生
 地域産業 ⇒ 帯広畜産大学・窪田先生

これまでの取組

看護・教育でそれぞれ講話を実施

今年度、進路類型別探究

教育：教育大学生から講話・交流（ZOOM）
 幼児教育の意義を帯広大谷短大教員講話
 SCIENCE & TECHNOLOGY
 帯広畜産大で実験授業予定

本校の変容②

高大接続



111

地域企業とのコラボ行事 ～ ますやパン麦音との取組



地域企業とのコラボ行事企画・運営

・ますやパン麦音との行事

近隣施設での活動

- ・開西病院での医療職体験（校舎隣）
- ・帯広養護学校での特別支援教育見学（1.2km）
- ・マテックプロダクツ見学（850m）

公欠にて外部活動を後押し

- ・不登校児支援行事「おしゃべりサロンsmiley」参加
- ・企業の防災取組について聞き取り調査
- ・帯広畜産大学授業参加（予定）

19

本校の変容③

外部活動



22

近隣施設での活動 ～ 帯広養護学校で学ぶ



インクルーシブ教育について学ぶ

障害者スポーツを体験

4 成果と課題

23

22

成果と課題 (成果…◎、課題…▲)

- ◎ 1、2年次の探究活動プログラムができた
- ◎ 外部人材リストの作成
- ◎ 生徒が**自身の成長を感じ、地域への関心を持つことができた。**
- ◎ 生徒からこんな人の話を聞きたい、こんな活動をしたいという**主体的な動きが活発**になってきた。
- ◎ ●▲ **教員のマインドセット**
 - ・探究活動の意義を全員が実感するには至っていないが、教員の意識は確実に変わってきた。
 - ・外部の方に「来ていただく」から「一緒にやる」意識へ



23

成果と課題 (成果…◎、課題…▲)

- ◎ 実際の体験的な活動
- ◎ 学校評議員や同窓会関係者、地域の方から**評価する声**が届いている。
- ◎ 探究活動を機に、**自らの進路目標を定める生徒**が出てきた
- ▲ **コーディネーターの継続的な確保**
- ▲ **高校全体での組織的な取組**
 - ・授業以外の活動と部活動との兼ね合い
 - ・生徒が外へ出ていきやすいシステムの評価と改善



24

今後に向けて

- ▶ 3年次は個人テーマを探究する予定
- ▶ キャリア教育としての探究活動のあり方を研究

都市型の探究活動プログラム構築へ

25

5 今後に向けて

ご清聴ありがとうございました。

27

26